

2018年度 大学自己点検・評価(経営戦略研究科(博士後期課程))自己点検・評価総括用シート1

<経営戦略研究科(博士後期課程)の教育研究目標の進捗状況>

教育研究目標(タイトル)		評価指標	評価尺度	進捗状況
目標 1	先端的ビジネス課題 解決に向けた高度 専門職業人の育成	当該年度の博士課程後期 課程在籍者、大学院研究員 の合計人数(x)に対する当 該年度の博士学位授与数 (y)	A: 当該年度の博士学位授与数が、 当該年度の博士課程後期課程 在籍者および大学院研究員の 合計人数を標準在籍年限の3で 割った数よりも多いかイコールで ある	2018年度目標値 D
			B: A は満たさないが、当該年度の 博士学位授与数が、当該年度の 博士課程後期課程在籍者およ び大学院研究員の合計人数を 最長在籍年限の6で割った数よ りも多いかイコールである C: A および B は満たさないが、当該 年度の博士学位授与数が、当該 年度の博士課程後期課程在籍 者および大学院研究員の合計 人数を9で割った数よりも多いか イコールである D: A、B、C のいずれも満たさない	2018年度 自己点検・評価後 (2018年度帳票提出 時点) B

<2016～2018年度の自己点検・評価の取組み総括>

総括1 <3年間の取組みによって改善したこと、向上したこと>

博士学位授与数は、2016年度が4名、2017年度が6名、2018年度春学期終了時点で2名であり、コンスタントに博士学位授与者を輩出できている。

評価専門委員・所見記入欄:

■総括1について

- ・ 着実に博士学位取得者を輩出していることが伺えます。(A)
- ・ 種々の取組みによってコンスタントに学位授与者を輩出できていることは大きな成果でしょう。今後も研究科の不断の努力に期待します。(B)
- ・ 設定した目標に対して、成果があがっています。(D)
- ・ 学位授与者を輩出していること自体が、どのような意味で改善と評価できるのか、外部者には直ちには明らかでないように思います。
- ・ なお、他の部局だけでなく、経営戦略研究科内の専門職課程と比較しても、全体として記述の密度がやや薄いように見受けられます。(G)
- ・ 引き続き PDCA サイクルを機能させることで、更なる伸展につながることを期待します。(H)